

止水板設置訓練の実施

11月下旬、浸水防止擁壁の止水板設置訓練を実施しました。

止水板設置訓練とは？

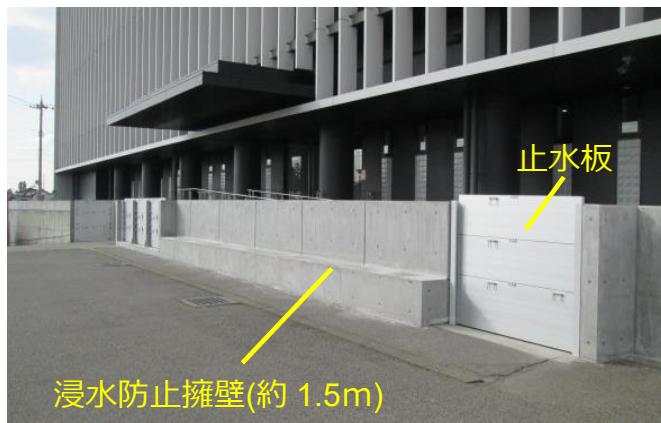
当データセンターは、浸水対策として当初、富山市の洪水ハザードマップで想定される浸水の深さを上回る洪水であっても、建物へ浸水しない高さまで敷地を高く造成して建設しました。

しかし、その後、洪水ハザードマップが更新され、基本想定(※1)による浸水の深さでは浸水はないものの、最大想定(※2)による浸水の深さでは、浸水の可能性があることが判りました。

(※1)概ね30年～150年に一度程度の降雨量による浸水の想定

(※2)概ね1000年に一度程度の最大規模の降雨量による浸水の想定

これを受けて、最大想定^の浸水対策として、浸水防止擁壁(約1.5m)を設置しました。



通常、止水板は設置しておりません

富山市から出される避難情報「警戒レベル3(警戒)」の発表を受けた時点で浸水対策本部を設置し、止水板の設置準備を開始します。「警戒レベル4(危険)」に達した場合は止水板を設置します。

止水板は組み立て式となっており、スムーズに設置できるよう、今回改めて設置手順も確認しました。



必要な資器材を出庫



正面玄関には支柱を設置後、止水板を設置



止水板設置箇所は6箇所あるため、分かれて一斉に作業実施



「1000年に一度のために?!」と思われるかもしれませんが、近年の気候変動及びその影響が、さらに今後、拡大するおそれがあると言われていたことから、いつ異常気象による浸水に見舞われてもおかしくありません。その時に備え、止水板設置訓練を定期的を実施しております。

今後も、浸水対策に限らず、この先起こりうる万が一の災害からも当データセンターを守ることができるよう、必要な対策を講じ、お客さまの「安全・安心」に取り組んでまいります。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社パワー・アンド・IT 経営企画・営業部 電話:076-461-7850

メールでお問い合わせをご希望の方は、弊社ホームページの[お問い合わせフォーム](#)をご利用下さい。